

中国語教授法

——名量詞——

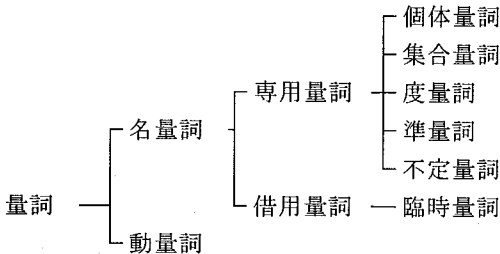
小川 泰生

0. はじめに

中国語を教える際に、難しいものとして、“了”や“把”等があるが、量詞の問題もその一つである。

“一本书”(1冊の本)や“去过一次”(1回行ったことがある)のように、事物や動作の量を数える時、数詞の後に置いてその単位とする“本”や“次”が量詞であり、“本”のように事物の量を数える名量詞と、“次”のように動作の量を数える動量詞とに大きく分けられる。本稿では数も多く複雑な名量詞を取り上げて、教授法の一助としたい。

名量詞は、専用量詞と借用量詞に分けられ、専用量詞は更に、個体量詞、集合量詞、度量詞、準量詞、不定量詞に分けられる。



1. 中国語の主な量詞の使い方

以下、名量詞の使用法を見ていく。

1-1 個体量詞

個体として数えられるものにつく量詞。その事物の形状や特性と意味的に関連性のある量詞が用いられる。

1-1-1 把

①柄や取っ手の付いているものを数える。

菜刀 (包丁) 茶壺 (急須) 刀 (ナイフ) 剪子 (はさみ) 傘 (傘)
扇子 (扇子) 椅子 (椅子)

②一つかみできるもの。

花儿（花）米（米）眼泪（涙）

③力，技能。

好手（腕利き）劲儿（力）力气（力）

1-1-2 本

書籍，帳簿類を数える。

词典（辞書）书（本）小说（小説）杂志（雑誌）帳（帳簿）

1-1-3 封

手紙など封をしたものを数える。

信（手紙）

1-1-4 幅

布地や絵画を数える。

标语（スローガン）布（布）画（絵）

1-1-5 副

①顔つきや表情について言う。

面孔（顔つき）笑脸（笑顔）样子（表情）

1-1-6 个

最も広く用いられる量詞で，一般に具体的なものをより具体化し，抽象的・非形象的なものを具体化する働きを持つ。専用の量詞を持つ名詞にもしばしば用いられることがある。

故事（物語）理想（理想）馒头（マントウ）苹果（リンゴ）人（人）

星期（週）心眼儿（気だて）学校（学校）

1-1-7 根

細長いものを数える。

冰棍儿（アイスキャンディー）钢管（鋼管）火柴（マッチ棒）筷子（箸）麻绳（麻縄）木料（木材）绳子（縄）

1-1-8 股

気体・においなどを数える。

香味儿（よいにおい）热气（熱気）

1-1-9 家

家・店・会社などを数える。

人家（人家）商店（商店）公司（会社）旅馆（旅館）工厂（工場）

1-1-10 架

支えのついたものや機械を数える。

钢琴（ピアノ）飞机（飛行機）机器（機械）收音机（ラジオ）
照相机（カメラ）

1-1-11 间

部屋を数える。

厨房（台所）客厅（応接間）屋子（部屋）

1-1-12 件

①衣類（主として上着）に用いる。

背心（チョッキ）长袍（長い中国服）（オーバー）毛衣（セーター）披风（マント）上衣（上着）衣服（服）雨衣（レインコート）

②事柄，事件，公文書，手紙などに用いる。

事（事柄）大事（大きな事柄）案子（事件）公文（公文書）来信（来信）

③総称を表す名詞に用いる。

东西（品物）工具（工具）货物（商品）家具（家具）首饰（アクセサリー）行李（荷物）艺术品（芸術品）

1-1-13 节

いくつかに分けられるものを数える。

车厢（車両）课（授業）

1-1-14 块

塊状や片状のものを数える。

肥皂（石鹼）香皂（化粧石鹼）砖（煉瓦）肉（肉）糖（あめ）手表（腕時計）地（土地）田（たんぼ）布（布）桌布（テーブルクロス）

1-1-15 粒

粒状のものを数える。

丸药（丸薬）黄豆（大豆）子弹（銃弾）米（米）

1-1-16 辆

自転車・自動車・馬車などを数える。

车（車）出租汽车（タクシー）公共汽车（バス）摩托车（バイク）
汽车（自動車）自行车（自転車）

1-1-17 篇

文章を数える。

论文（論文）文章（文章）作文（作文）

1-1-18 首

詩や歌を数える。

詩（詩）歌儿（歌）国歌（国家）民歌（民謡）

1-1-19 所

建物・学校・病院などを数える。

房子（家）住宅（住宅）学校（学校）医院（病院）

1-1-20 台

機械を数える。

电话（電話）电扇（扇風機）电视（テレビ）发电机（発電機）录像机（ビデオ・デッキ）拖拉机（トラクター）

1-1-21 条

①細長いものを数える。本。筋。

河（川）路（道）绳（紐）裤子（ズボン）裙子（スカート）腿（足）狗（犬）蛇（蛇）鱼（魚）命（命）心（心）香烟（タバコ）

②項目を立てて数えられるような抽象的な事物に用いる。

意见（意見）建议（提案）妙计（妙案）消息（ニュース）路线（路線）

1-1-22 位

敬意を込めて人を数える。

客人（お客）老师（先生）

1-1-23 张

①平面を持つものを数える。

纸（紙）画（絵）邮票（切手）照片片（写真）牛皮（牛皮）铁皮（ブリキ）桌子（テーブル）床（ベッド）

②口や顔を数える。

嘴（口）脸（顔）

1-1-24 支

①棒状のものを数える。（“枝”に同じ）

笔（毛筆，ペン，鉛筆などの総称）钢笔（ペン）香烟（タバコ）蜡烛（ろうそく）笛子（笛）枪（銃）柳条（柳の枝）箭（矢）

②隊伍などを数える。

队伍（隊列）军队（軍隊）力量（勢力）

③歌や楽曲を数える。

歌儿（歌）古典乐曲（伝統的な曲）曲子（曲）

1-1-25 只

①対になっているものの1つを数える。

耳朵（耳）袜子（靴下）皮鞋（革靴）手（手）

②動物を数える。

老虎（虎）羊（羊）兔子（兔）鸟（鳥）鸡（鶏）鸭子（アヒル）

青蛙（蛙）苍蝇（蠅）蚊子（蚊）蚂蚁（アリ）蜜蜂（蜜蜂）

③器具を数える。

手表（腕時計）竹筐（竹かご）

④船を数える。

船（船）汽艇（モーターボート）游艇（遊覧船）

1-1-26 张

①紙や皮など平らなものを数える。枚

紙（紙）地图（地図）

②机やベッドなどを数える。

桌子（机）床（ベッド）

③口や顔を数える。

嘴（口）脸（顔）

④弓を数える。

弓（弓）

1-1-27 座

どっしり大きく動かないものを数える。

铜像∈銅像::大楼（ビル）桥（橋）水库（ダム）山（山）寺庙（寺院）

1-2 集合量詞

対象となる事物を、一つのまとまりを持った集合として数えたり、全体を部分に分けて数える時に用いる量詞。

1-2-1 对

人為的にペアをなすもの。

夫妇（夫婦）情人（カップル）鸳鸯（オシドリ）金鱼（金魚）花瓶（花瓶）耳环（イヤリング）眼睛（目）翅膀（羽）

1-2-2 双

左右対称の身体部位や本来的にペアをなすものを数える。

手（手）脚（足）眼睛（目）耳朵（耳）手套（手袋）袜子（靴下）鞋∈靴::筷子（箸）翅膀（羽）

1-2-3 副

組になったもの、対になったもの。

手套（手袋）对联（対聯）筷子（箸）耳环（イヤリング）镯子∈腕
輪::眼镜儿（メガネ）

1-2-4 伙

人の群れを数える。

人（人）学生（学生）

1-2-5 群

群れをなすものを数える。

孩子（子供）记者（記者）马（馬）羊（羊）鸟（鳥）人（人）蜜
蜂（蜜蜂）小島（小島）

1-2-6 套

組になっているものを数える。

家具（家具）茶具（茶器）邮票（切手）西服（背広）

1-2-7 系列

问题（問題）

1-2-8 部分

人（人）

1-2-9 段

一定の時間や距離、事物の一部分を数える。

时期（時期）时间（時間）话（話）文章（文章）路（道）

1-2-10 节

いくつか区切れるものを数える。

课

1-2-11 种

人や事物を数える。

人（人）东西∈もの::

1-3 度量詞

度量衡の単位。

丈（長さの単位。丈。“尺”の10倍。約3.3メートル。）

尺（長さの単位。尺。“寸”の10倍。約3分の1メートル。）

寸（長さの単位。寸。“尺”の10分の1。）

分∈長さの単位。分。“尺”の100分の1。::

- 頃（土地面積の単位。“市頃”の通称。6.6667ヘクタール。“亩”の100倍）
- 亩∈土地面積の単位。“市亩”の通称。666.7平方メートル。666.7平方メートル。∴
- 分∈土地面積の単位。“市分”の通称。“亩”の10分の1。66.67平方メートル。∴
- 斤（重さの単位。斤。500グラム。）
- 両（重さの単位。両。“斤”の10分の1。50グラム。）
- 钱∈重さの単位。錢。“斤”の100分の1。5グラム。∴
- 石∈容積の単位。石。“斗”の10倍。∴
- 斗（容積の単位。斗。“升”の10倍。）
- 升（容積の単位。升。“斗”の10分の1。）
- 合（容積の単位。合。“升”の10分の1。）
- 块（貨幣の単位。書き言葉の元に相当する話し言葉。“毛”の10倍。）
- 毛（貨幣の単位。書き言葉の角に相当する話し言葉。“分”の10倍。）
- 分（貨幣の単位。“分”の10分の1。）

1-4 準量詞

量詞を使わず、数詞と直接結びつく名詞。

世紀（世紀）年（年）天（日）夜（夜）季（季）国（国）县（県）
站（駅）

1-5 不定量詞

不定量を示す“一些”“一点儿”。結びつく数詞は“一”に限られる。

1-6 臨時量詞

容器や場所や関連動作で数える。

1-6-1 杯

飲み物を入れるコップ，カップ，湯飲み茶碗で数える。

水（水）茶（茶）咖啡（コーヒー）酒（酒）威士忌（ウイスキー）

1-6-2 缸

かめで数える。

水

1-6-3 锅

鍋で数える。

水

1-6-4 壺

つぼに入った液体を数える。

水（水）酒（酒）

1-6-5 盆

はちで数える。

水

1-6-6 瓢

ひしゃくで数える。

水

1-6-7 桶

おけで数える。

水（水）原油（原油）

1-6-8 桌

机，テーブルで数える。

菜（料理）客（客）席（席）

1-6-9 床

布団などの寝具を数える。

被（掛け布団）鋪盖（布団）

6-10 臉

顔で数える。

汗

1-6-11 屋子

部屋で数える。

书

1-6-12 书架

本棚で数える。

书

1-6-13 刀

紙を数える単位。“一刀”は100枚

紙

1-6-14 笔

金銭または金銭と関係のあるものについて言う。

帳（勘定）钱（金）存款（預金）債（負債）

1-6-15 包

包んだものを数える。

米∈米::点心（お菓子）茉莉花茶（ジャスミン茶）

1-6-16 把

一握りの量を数える。

米（米）花生（落花生）葱（ネギ）花儿（花）韭菜（ニラ）

土（土）汗（汗）眼泪（涙）

1-6-17 撮

指でつまんだものを数える。

米（米）盐（塩）芝麻（ゴマ）

1-6-18 盒

箱入りのものを数える。

香烟（タバコ）火柴（マッチ）麻花儿∈小麦粉を縄状にして油であげた菓子::

1-6-19 捧

両手ですくえるものを数える。

米（米）花生米（落花生）土（土）枣儿（ナツメ）黄豆（大豆）

1-6-20 瓶

瓶に入っているものを数える。

酒（酒）啤酒（ビール）威士忌（ウイスキー）可口可乐（コカコーラ）

1-6-21 碗

碗で数える。

饭∈ごはん::

2. 日本人学習者の注意すべき点

日本人にとって量詞の概念自体は難しいものではない。

一 本 书
一 冊の 本
a book

で、“本”（冊）が量詞であり、英語などと違って、日本語は中国語ときれいに対応しているからである。但し、以下の点に注意しなければならない。

①量詞の後“的”を加えてはいけない。

「一冊の本」は“一本书”であり、“一本的书”と言ってははいけない。

②指示詞が名詞にかかる時も量詞を付ける。

这 本 书

この (冊の) 本

日本語では「この冊の本」とは言わないが、中国語では“这本书”と、指示詞“这”が、名詞“书”にかかる場合、量詞“本”が必要である。

③中国語の量詞は日本語とは異なるので、一つ一つ覚えていかねばならない。Iでも述べたが、

一本书 (一冊の本) 一张纸 (一枚の紙) 一只猫 (一匹の猫) 一条河
(一本の川) 一条狗 (一匹の犬) 一把椅子 (一脚の椅子) 一只船 (一艘の船)

等、日本語と異なる量詞を覚えなければならない。また、

那个房间装着火炉,一打开纸隔门,就流出一股强烈的热气。

その部屋は炉が切っており、障子をあけると強い火気が流れてきた。

他显出了一副不高兴的样子。

彼は不機嫌そうな顔をした。

のように、日本語ではつかない“热气”や“样子”に量詞が付いたりすることに注意しなければならない。

④日本語では量詞の入らない箇所にも、中国語の量詞が入ることが多いので、注意を要する。

那个男人背着一个大柳条包。

男は大きい柳行李を背負っていた。

上一次带来的这个女孩已经长成这个样子,变成了一个漂亮姑娘,你也出头啦。

この前連れていた娘がもうこんなになったのかい。いい娘になって、おまえさんも結構だよ。

これは日本人にとって、難しい問題だが、

①英語の不定冠詞 (a) に相当する場合は、数量詞を入れる。

他在一家贸易公司工作。

彼はある貿易会社で働いています。

②存現文の場合、目的語が単数の場合、日本語では数量詞は必要ないが、中国語では入れる。

桌子上放着一本书。

机の上に1冊の本が置いてある。

③目的語に連体修飾語がつく場合、日本語では数量詞は必要ないが、中国語では入れる。

他有一个很漂亮的妻子。

彼にはきれいな妻がいる。

といったことを押さえておく必要がある。

以上のような分類をもとに、日本語との相違点を個々の具体的用例に即して明確すれば、学習者にとって中国語の名量詞が理解しやすいものになるであろう。

最後に、名量詞についての詳細を調べる際に有益な参考文献を掲げる。

- 刘学敏・邓崇谟（1989）《现代汉语名词量词搭配词典》浙江教育出版社
- 張麟声（1983）「日中両語の助数詞」『日本語学』1983年8月号
- 中川正之・李浚哲（1992）「日中両語における数量表現」『日本語と中国語の対照研究論文集』1992 くらしお出版
- 大河内康憲（1985）「量詞の固体化機能」『中国語学』232号（日本中国語学会編）
- 郭春貴（1995）「日中両国語の数量詞用法の相違——日本人学習者の誤用例から——」『広島修大論集 人文編』題35巻第2号
- 朱德熙（1982）『语法讲义』商务印书馆
- 朱德熙著 杉村博文・木村英樹訳（1995）『文法講義—朱德熙教授の中国語文法要説—』白帝社
- 興水優（1985）『中国語の語法の話』光生館
- 馬真・郭春貴（2001）『簡明中国語文法ポイント100』白帝社
- 郭春貴（2001）『誤用から学ぶ中国語』白帝社
- 守屋宏則（1995）『やさしくくわしい中国語文法の基礎』東方書店